

Golden Rule

ゴールデン ルール

知っておきたいキリスト教のことば (29)

黄金律 おうごんりつ

わたしは昔、数学が専門でしたので、「おうごんりつ」と聞くと、「ああ、美しい長方形のことか」と思ってしまいます。しかしそれは「黄金率(黄金比)のことです。「黄金律」の律とは、「おきて」、「法律」、「さだめ」といった意味を持つ語です。

そして「黄金律」というときには、宗教や哲学、道徳の中で語られる、ある倫理的な内容を指します。

例えば孔子は論語の中で、「己の欲せざるところ、他に施すことなかれ」と言います。またイスラームのムハンマドは「自分が人から危害を受けたくなければ、誰にも危害を加えないことである」と言っています。

また、旧約聖書続編の中にも、「自分が嫌なことは、ほかのだれにもしてはならない」(トビト記 4 章 15 節)という言葉があります。

それらの言葉に共通しているのは、自分が嫌なことは相手にもしないようにと、行為を禁止していることです。つまり否定的な表現だともいえます。

それに対しイエス様は、「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」と言われます。つまり積極的な行為を促しているのです。

人にしてもらいたいことを、他の人にする。家族や仲の良い人たちにだったら何とかできるかもしれませんが、でも全く知らない誰かのために、わたしたちは愛の行動をおこなうようにと、イエス様は言われているのです。

「あなたの敵を愛しなさい」、その言葉と共に、わたしたちはいつもイエス様が語られた「黄金律」に心を向けたいと思います。

次回は「奥義」です。お楽しみに。



「善きサマリア人」
レンブラント・ファン・レイン(1606-1669)

だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。

(マタイによる福音書 7 章 12 節)

